

レンゴー株式会社向けポジティブ・インパクト・ファイナンスの シンジケートローン参加について

株式会社 南都銀行（頭取 橋本隆史）は、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼COO 川本 洋祐）を借入人として、国連環境計画金融イニシアティブ^{*1}が提唱したポジティブ・インパクト金融原則^{*2}に即した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」のシンジケートローンに参加しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、PIF）は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資であり企業によるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

本件 PIF に係るインパクト評価は、シンジケートローンのアレンジャー及びエージェントである三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 橋本 勝）が実施^{*3}しており、PIF での融資は当行として初の取組みとなります。

レンゴグループは、製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外の6つのコア事業を中心に、あらゆる産業の全ての包装ニーズをイノベーションする「ゼネラル・パッケージング・インダストリー」=GPI レンゴーとして、“Less is more.”をキーワードとする、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発に取組み、持続可能な社会の実現に貢献^{*4}されています。

当行は、従来から取組んできた地域貢献活動や地域経済活性化に加え、本件 PIF の取組みを通じ、SDGs の目標達成に資するお客さまの事業活動を支援するなど、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【シンジケートローンの概要】

借入人	レンゴー株式会社
契約締結日	2020年9月28日
アレンジャー／エージェント	三井住友信託銀行株式会社
資金用途	運転資金
貸付人	南都銀行ほか15行

以上

【本件に関するお問合せ先】 経営企画部(広報担当) 森田・甲村^{こうむら} TEL 0742-27-1599

※1 国連環境計画金融イニシアティブ

国連環境計画（UNEP）は、1972年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。UNEP FIは、UNEPと200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とESG（環境・社会・企業統治）への配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

※2 ポジティブ・インパクト金融原則

UNEP FIが2017年1月に策定した、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた金融の枠組です。企業がSDGsの達成への貢献をKPIで開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

※3 2020年9月28日付三井住友信託銀行株式会社のニュースリリースをご参照ください。

<https://www.smb.jp/corporate/release/>

※4 レンゴー株式会社のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.rengo.co.jp/>